

CSR コミュニケーション Vol.63

T&D 保険グループでは、グループ各社がさまざまな社会活動や環境保護活動に取り組んでいます。
今回は、以下の取組みをご紹介します。

「第18回全国障害者スポーツ大会“福井しあわせ元気大会”」を応援

10月13日(土)～15日(月)の3日間、大同生命が特別協賛する「第18回全国障害者スポーツ大会“福井しあわせ元気大会”」が開催されました。大同生命は、同大会の前身である「全国的障害者スポーツ大会(ゆうあいピック)」の第1回大会(平成4年)から特別協賛を行っており、今年で26回目となります。

今回も、大同生命の役職員をはじめ、太陽生命や大同生命の提携団体の皆さんなど、のべ約350名がボランティアとして大会に協力、サポートしました。メイン会場の広場に特設ブースを設置し、ゲームやイベントを通じて、全国から集まった選手や応援の皆さんと交流を深めました。



【開会式の様子】

「全国障害者スポーツ大会」とは

障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした国内最大の障がい者スポーツの祭典であり、毎年「国民体育大会」とともに開催されます。



【来場者で賑わう大同生命のブース】



【大同生命ブース(ボウリングゲーム)】

太陽生命くつきの森林で「どんぐりプロジェクト 植樹式」を開催

11月30日(金)、滋賀県高島市立朽木東小学校の子供たちと取り組んでいる「どんぐりプロジェクト」の植樹式が執り行われ、6年生が、どんぐりを植え付けてから3年間育ててきた苗木を太陽生命くつきの森林に植樹しました。植樹後の記念セレモニーでは、皆で「ふるさと」の合唱や、スライドで3年間を振り返り、セレモニーの最後には苗木を今まで育ててくれた6年生に「どんぐりメダル」と「思い出のアルバム」が授与されました。

これからも太陽生命は、子供たちと力を合わせて恵み豊かな森林づくりを進めていきます。

「どんぐりプロジェクト」とは

次世代を担う子供たちが自然環境保全の大切さを理解するための体験の場の提供を目的に、太陽生命が「太陽生命くつきの森林」において地元小学校と協働で実施している活動です。平成23年に始まり、今年で8年目を迎えました。3年生の時に、くつきの森林のどんぐりを植え付け、6年生の時に、高さ50センチほどに育てた苗木をくつきの森林に植樹するという4年間にわたるプロジェクトです。



【活動に参加された皆さん】



【6年生に授与されたメダルとアルバム】



【植樹の様子①】



【植樹の様子②】

「CSR コミュニケーション」では、T&D 保険グループの CSR 活動を紹介しています。
また、グループ一体となった CSR 活動を推進するため、グループ各社へ発信し、情報を共有しています。

ご意見・ご要望は、CSRお問い合わせ窓口(csr@td-holdings.co.jp)へお寄せください。

T&Dホールディングス グループCSR委員会事務局(HD経営企画部CSR推進課)